

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

特別会計		事務事業分類	A 一般事務事業					
事務事業名	包括的支援事業(認知症初期集中支援チーム等)		シート番号	011-067				
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	地域包括ケア推進	課	評価責任者(課長名)	阿加井

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	地域全体で支える福祉の仕組みづくり	有
	2	事業開始年度	平成 27 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	介護保険法			
	4	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(平成30(2018)~32(2020)年度)			
5	事業実施の経緯	平成27年度介護保険法改正により、認知症施策の推進や、認知症初期集中支援チームの設置等が包括的支援事業に加わった。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()	
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	高齢者及びその家族や地域住民	
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	認知症であっても高齢者が住み慣れた地域で暮らしていけるための体制整備を図る。	
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<input type="checkbox"/> 認知症初期集中支援チーム(認知症早期発見・早期対応のために、認知症の方及びその家族の初期支援を包括的、集中的に行う医師・医療職・福祉職からなるチーム)の設置 <input type="checkbox"/> 認知症地域支援推進員の配置 <input type="checkbox"/> 嘱託医(医師による認知症困難事例への訪問指導)制度の整備 <input type="checkbox"/> 認知症支援のてびき(認知症ケアパス)の作成・普及 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()	
10	直接実施以外の主な支出先	(社福)堺市社会福祉協議会、(公財)浅香山病院、(医)杏和会 阪南病院		

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	27,256	26,818	20,504	17,930	20,550	20,480	20,710	
主な事業費内訳	委託料	千円	27,106	26,749	17,850	17,850	20,400	20,400	20,400
	その他	千円	150	69	2,654	80	150	80	310
		千円							
		千円							
財源内訳	国・府支出金	千円	15,740	15,689	11,841	10,355	11,868	11,827	11,960
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他(被保険者保険料)	千円	6,269	5,899	4,716	4,124	4,726	4,710	4,763
一般財源	千円	5,247	5,230	3,947	3,451	3,956	3,943	3,987	
12 人件費 (b)	千円	4,100	4,100	4,100	4,100	2,430	2,430	4,100	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	31,356	30,918	24,604	22,030	22,980	22,910	24,810	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	包括的支援事業(認知症初期集中支援チーム等)	シート番号	011-067
-------	------------------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

		令和元年度実績																																							
活動実績と成果	14	<p>【初期集中支援チーム】 浅香山病院 認知症疾患医療センター(平成28年1月～稼働) 新規対応件数:52件 阪南病院認知症疾患医療センター(平成30年10月～稼働) 新規対応件数:22件</p> <p>※例年、認知症初期集中支援チームの活動内容の周知と、地域での認知症への対応力向上のため、地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所向けに、事例検討会を実施しているが、令和元年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、開催中止。</p> <p>【認知症地域支援推進員の配置】 社会福祉協議会に2名の推進員を配置し、若年性認知症の支援を中心に、認知症の理解等にかかる啓発や、嘱託医による認知症専門医療相談に関する調整等を行っている。</p> <p>【嘱託医(医師による認知症困難事例への訪問指導)制度の整備】 認知症サポート医養成研修を修了し、認知症に精通した医師が、専門医療機関への受診が困難な本人・家族等への専門医療相談を実施。 実績:合計31件</p> <p>【認知症支援のてびき(認知症ケアパス)の作成・普及】 地域包括支援センター等で市民、医療介護等関係者向けに対応方法のマニュアルやケアの流れが一目で分かる「てびき」をホームページで公開するなど普及に努めた。</p>																																							
	15	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">指標名【成果指標】</th> <th style="width: 10%;">単位</th> <th style="width: 15%;">平成29年度</th> <th style="width: 15%;">平成30年度</th> <th style="width: 15%;">令和元年度</th> <th style="width: 15%;">令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">初期集中支援チームの支援件数</td> <td rowspan="4">件</td> <td>目標値</td> <td>50</td> <td>75</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>70</td> <td>67</td> <td>74</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>140%</td> <td>89%</td> <td>74%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td>大変良い</td> <td>普通</td> <td>少し悪い</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">算出方法・設定根拠など</td> <td colspan="4">支援実数</td> </tr> </tbody> </table>	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	初期集中支援チームの支援件数	件	目標値	50	75	100	100	実績値	70	67	74		達成率	140%	89%	74%		評価	大変良い	普通	少し悪い		算出方法・設定根拠など		支援実数								
	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度																																			
	初期集中支援チームの支援件数	件	目標値	50	75	100	100																																		
			実績値	70	67	74																																			
			達成率	140%	89%	74%																																			
			評価	大変良い	普通	少し悪い																																			
	算出方法・設定根拠など		支援実数																																						
	16	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">指標名【成果指標】</th> <th style="width: 10%;">単位</th> <th style="width: 15%;">平成29年度</th> <th style="width: 15%;">平成30年度</th> <th style="width: 15%;">令和元年度</th> <th style="width: 15%;">令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">嘱託医による認知症困難事例への訪問指導数</td> <td rowspan="4">件</td> <td>目標値</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>34</td> <td>31</td> <td>33</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>113%</td> <td>103%</td> <td>110%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td>良い</td> <td>良い</td> <td>良い</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">算出方法・設定根拠など</td> <td colspan="4">訪問指導数</td> </tr> </tbody> </table>	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	嘱託医による認知症困難事例への訪問指導数	件	目標値	30	30	30	30	実績値	34	31	33		達成率	113%	103%	110%		評価	良い	良い	良い		算出方法・設定根拠など		訪問指導数								
	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度																																			
嘱託医による認知症困難事例への訪問指導数	件	目標値	30	30	30	30																																			
		実績値	34	31	33																																				
		達成率	113%	103%	110%																																				
		評価	良い	良い	良い																																				
算出方法・設定根拠など		訪問指導数																																							

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	初期集中支援チームの支援件数	件	70	67	74
	②	上記①にかかる年間経費	千円	10,200	17,850	20,400
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	145,714	266,418	275,676
	備考(算出についての説明等)					
18	①	嘱託医による認知症困難事例への訪問指導数	件	34	31	33
	②	上記①にかかる年間経費	千円	840	812	812
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	24,706	26,194	24,606
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

19	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
<p>平成30年度に初期集中支援チームの2か所目を設置したことで、市民の利便性の向上につながっている。周知が一定進んだことにより、実績も微増しており、今後の利用においては効率性が期待できる。 嘱託医相談も、初期集中支援チームとの役割分担ができており、市民の相談の種類によって適切な支援ができていると言え、多様な認知症支援として有効である。</p>	

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	包括的支援事業(認知症初期集中支援チーム等)	シート番号	011-067
-------	------------------------	-------	---------

≪V. 点検≫

<点検の前提>

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検(必要性・有効性・効率性)	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 認知症は早期発見・早期治療が重要であるため、初期段階での支援を重点的に行う本事業を廃止すると、今後も高齢化が進み、認知症を有する人が増えていく状況に対応できなくなる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 認知症は早期発見・早期治療が重要であるため、初期段階での支援を重点的に行う本事業を休止すると、今後も高齢化が進み、認知症を有する人が増えていく状況に対応できなくなる。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 認知症医療という専門性の高い分野であり、医療機関と連携して実施している事業であるため。 また、初期集中支援チームや認知症地域支援推進員の設置や認知症サポーターの養成はそれぞれ国の地域支援事業実施要綱に基づいて行っている事業であるため。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 事例検討会や相談を受ける際には、消毒液の設置等、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で実施する。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 既に専門の医療機関に委託済みであり、他の手段等の検討は困難である。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見	初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員や専門医療機関、地域包括支援センター等の連携を強化し、早期発見・早期診断につなげていく。	